

東日本大震災の被災地における 被災女性支援にあたる 相談員・支援者のための研修

東日本大震災の発生以来、被災地女性の支援は電話相談、面接相談をはじめさまざまな形で行なわれてきました。今回は、そのような被災地女性支援にあたってきた相談員、支援者のための研修を開催します。

被災から4年半を経て、被災地の女性たちが抱える現実が多様さを増しています。より良い支援のために被災地の女性たちの歩み、現在の状況などを共有し、また、今日の状況をサポートするために必要な視点やアプローチを学びます。

講話① 被災地における女性たちの現在 (仮題)

講師 古賀佑美 さん
河北新報社南三陸支局

講話② 女性相談に必要なジェンダーの視点

講師 川喜田好恵 さん
大阪府立男女共同参画・青少年センターカウンセラー
日本フェミニストカウンセラー協会代表理事

日時：2015年10/4(日)

午後1時～4時

会場：石巻市総合福祉会館みなと荘

〒986-0016 石巻市八幡町一丁目6番22号

☎0225-96-0845 ※駐車場あります。

対象：被災女性の支援にあっている相談員・支援員・相談窓口担当者、被災女性と関わりのある仕事・活動をしている方

定員：70名(要予約)

受講料：無料

主催：NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会

〒102-0074 東京都千代田区九段南4-7-22-505

TEL:03-3239-5330 FAX:03-3239-5331

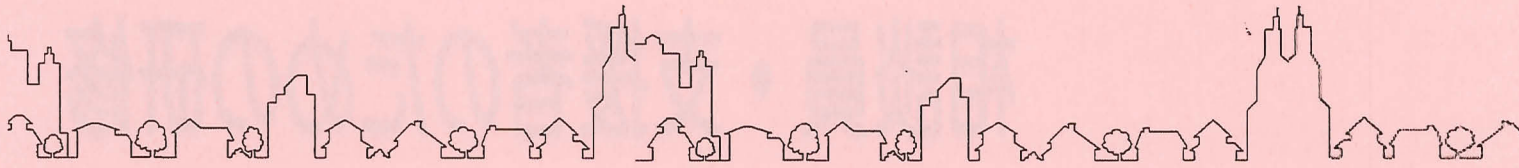
共催：石巻市・ウィメンズカウンセリングいずみ

お申込みは裏面へ

申込み方法

[申込受付期間]：2015年8月10日(月)～定員に達し次第締め切らせていただきます

- ◆下記の申込書を使用し、郵送またはFAX送信にて申し込んでください。
- ◆受講が確定した方には受諾証(ハガキ)をお送りします。
- ◆受諾証到着後にキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。



講師プロフィール

古賀佑美さん

1984年生まれ、埼玉県出身。2007年に河北新報社に入社。宮城県警担当、秋田総局を経て、東日本大震災後は2014年の年間企画「震災と子ども」取材班に参加し、学校の取り組みや親を亡くした子どもたち、古里を離れた家族ら取材。15年4月、1人支局の南三陸支局に赴任した。13年10月に復興支援のためノルウェー政府が招いた女性のリーダーシップ研修に仙台の学生と視察。同国で進むクオータ制や政治意識を特集した。現在は震災から5年目となった南三陸町で復興の進行状況や課題を追う。

川喜田好恵さん

1948年大阪府生まれ。大学卒業後、組織開発・人間関係トレーニングなどに関わった後、米国の大学院でカウンセリングを学ぶ。1981年より大阪府立婦人会館カウンセラーなどを経て、大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)の設立にかかわり、2009年まで相談及び事業担当コーディネーター。現在は、日本DV防止・情報センター運営委員、日本フェミニストカウンセラー協会理事、堺市などで男女共同参画審議会委員などを務めるほか、全国の女性センターの相談事業のスーパーヴィジョン、自己表現トレーニング、ドメスティック・バイオレンス防止などの活動を行っている。

申込み・問合せ先

ウィメンズカウンセリングいずみ

〒981-0913 仙台市青葉区昭和町3-40-810
TEL&FAX 022-727-5455

被災女性支援にあたる相談員・支援者のための研修

申込み書

●ウィメンズカウンセリングいずみ

FAX 022-727-5455

ふりがな お名前		年 齢	歳
住 所	受諾証送付先をご記入ください 〒		
T E L	(自宅・勤務先)		
所属または 勤務先			
被災地女性支援の 内容	(必ずご記入ください)		

